

地域別ジェネリックカルテ(市区町村別)【令和5年4月診療分】

No.	二次医療機関コード	二次医療機関名(※1, 14)	自治体コード	市区町村名(※1, 15)	【医療機関の視点】																								【薬局の視点】				【患者の視点】																	
					院内処方												院外処方												調剤ジェネリック医薬品使用割合(※7, 13)				一般処方限定調剤ジェネリック医薬品使用割合(※9)	加入者ジェネリック拒否割合(※10, 13)																
					院内処方ジェネリック医薬品使用割合												院外処方ジェネリック医薬品使用割合												調剤ジェネリック医薬品使用割合(※7, 13)				一般処方限定調剤ジェネリック医薬品使用割合(※9)	加入者ジェネリック拒否割合(※10, 13)																
					ジェネリック医薬品使用割合(※2, 3, 4, 5)			入院			外来			病院			診療所			一般処方方(※7, 13)			病院		診療所		調剤ジェネリック医薬品使用割合(※7, 13)		一般処方限定調剤ジェネリック医薬品使用割合(※9)	加入者ジェネリック拒否割合(※10, 13)																				
標準値(※11)	指標数値	影響度(※12)	標準値	指標数値	影響度	標準値	指標数値	影響度	標準値	指標数値	影響度	標準値	指標数値	影響度	標準値	指標数値	影響度	標準値	指標数値	影響度	標準値	指標数値	影響度	標準値	指標数値	影響度	標準値	指標数値	影響度	標準値	指標数値	影響度	標準値	指標数値	影響度	標準値	指標数値	影響度	標準値	指標数値	影響度									
27	2701	豊能	27203	豊中市	44	74.6	-0.18	49	66.1	-0.01	39	71.5	-0.00	50	65.8	-0.00	40	41.6	-0.02	51	69.0	+0.01	50	21.1	33	78.9	-0.16	37	76.3	-0.02	34	77.0	-0.14	46	57.3	-0.04	51	45.1	45	58.4	33	78.9	-0.16	36	81.7	50	78.9	37	20.9	-0.13

※1 地域別の集計は、医療機関および薬局の所在地に基づく。
 ※2 令和5年4月診療分の処方、DPC、調剤レセプトを対象とする。DPCIについてはコーディングデータを集計対象とする。
 ※3 数値は、薬価基準告示上の規格単位毎に数えたもの。
 ※4 ジェネリック医薬品使用割合は「後発品数量÷(後発品数量+先発品数量)」で算出。
 ※5 医薬品の区分は、厚生労働省「各先発品医薬品の後発品医薬品の有無に関する情報(令和5年6月16日適用)」による。
 ※6 実質院内処方率として、医薬品処方数量に基づいて算出している。(院内処方医薬品数量)/(院内処方医薬品数量+院外処方医薬品数量)
 ※7 実質一般処方率として、一般処方加算(レセプト)に基づいて算出している。(一般処方加算(レセプト)が存在する医薬品レセプトに、支那、記号、番号、性別、生年月日、医療機関、処方月がヒモ付調剤レセプトの数)/(調剤レセプトの数)
 ※8 一般処方加算が存在する医薬品レセプトに、支那、記号、番号、性別、生年月日、医療機関、処方月がヒモ付調剤レセプトのみを集計対象とする。
 ※9 実質院外処方率として、医薬品処方数量に基づいて算出している。(院外処方医薬品数量)/(院内処方医薬品数量+院外処方医薬品数量)
 ※10 (調剤レセプトの加入者の割合で後発品を調剤しなかったコメントレコードのあるレセプト数)/(一般処方加算が存在する医薬品レセプトに、支那、記号、番号、性別、生年月日、医療機関、処方月がヒモ付調剤レセプト数)
 ※11 偏差値は県における市区町村の位置づけを表す。
 ※12 影響度は偏差値50からの差に数量構成割合の比率を乗じて算出している。数量構成割合は地域によって異なるため、全体の影響度とその内訳の合計は必ずしも一致しない。
 ※13 一般処方率、加入者ジェネリック拒否割合の影響度は全国傾向に基づいた推計値のため、母数が少ない地域では大きな誤差が生じる可能性がある。
 ※14 二次医療機関に関する情報は、令和元年10月1日時点のものとする。
 ※15 市区町村に関する情報は、令和5年1月24日時点のものとする。